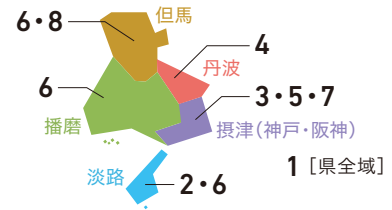


# 旬トピ! ~Timely Topics in HYOGO~



## 1 県民の皆さんへ協力をお願い ~Withコロナの新たな段階への移行に向けて~

9月26日から全国一律で、新型コロナウイルス感染症の発生届出の対象者を限定したことに伴い、県では新たに「陽性者登録支援センター」(神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、明石市在住の人は除く)を開設しました。県民の皆さんは引き続き、基本的な感染対策の徹底や積極的なコロナワクチン接種等の取り組みにご協力をお願いします。(県新型コロナウイルス感染症対策本部)

### 「陽性者登録支援センター」を新設しました

医療機関を受診して陽性が判明した発生届出対象外者のうち、宿泊療養や支援物資を希望する人は「陽性者登録支援センター」への登録をお願いします。また、症状悪化時の健康相談などは既存の「自宅療養者等相談支援センター」を活用できますのでご安心ください。

※神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、明石市在住の人は支援策が異なります。各自治体のホームページで確認してください

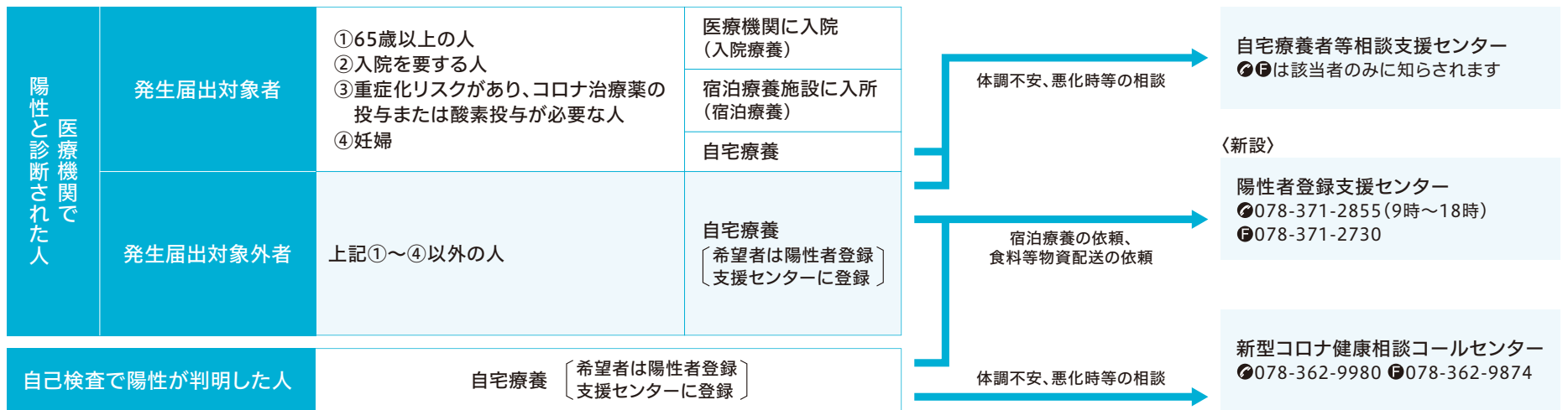
### 乳幼児(6カ月~4歳)および小児(5歳~11歳)のワクチン接種をご検討ください

10月から乳幼児へのワクチン接種が始まっています。コロナワクチンはオミクロン株流行下でも有効なことから、小児や乳幼児を含め、広く接種に努めていただくこととなりました。子どものワクチン接種の相談に対応する「兵庫県新型コロナウイルスワクチン小児接種専用相談ダイヤル」を設置しています。また、小児接種の必要性や有効性を解説した動画を作成しましたので、動画も参考にしてワクチン接種を検討してください。

兵庫県新型コロナウイルスワクチン  
小児接種専用相談ダイヤル  
☎0570-004-588(9時~17時30分)  
☎078-361-1814



### 陽性者の療養の流れ



### 今月の表紙

## 2 変わらぬ姿で150余年 明石海峡の安全を守り続けています



ここにレンズとランプが設置されています

円筒形の灯台と平屋根の付属舎から成るユニークなフォルム。高さ8.3mの塔頂部にはレトロな風向計も。

淡路市の北端、明石海峡を見渡す標高約40mの地に石造りの灯台が立っています。その名は江崎灯台。明治維新を前に、兵庫開港に備えて瀬戸内海に計画された5灯台の一つで、英国人技師の設計・指導により建設されました。今も現役で、1871(明治4)年の初点灯以来、海峡の安全を見守り続けています。現存する西洋式灯台では全国で3番目に古く、海路の近代化に取り組んだ明治政府の海上交通政策を知る上で貴重な建造物として今年2月、国の重要文化財に指定されました。震災など数々の苦難を乗り越えた白亜の灯台は、これからも海峡を行き交う船を光で導きます。(神戸海上保安部交通課長 丸橋隆也さん)



灯台ごとに光り方が異なり、江崎灯台では赤と白の光がレンズを通して5秒ずつ交互に放たれます。



10cmほどずれた外壁に震災の爪痕が残ります。

☎神戸海上保安部交通課 ※通常灯台敷地内は立ち入り禁止  
☎078-327-8835 ☎078-327-8836 神戸海上保安部 江崎灯台